

科目名	税務会計Ⅱ(法人税法)		担当者名	藤田忠尚(フジタタダヒサ)	
開講年次	2	開講時期	前期	クラス	
授業形態	演習	履修方法	選択	単位数	1
ナンバリング	D1102	該当DP	DP2,DP3	実務経験	
授業概要	<p>税制は国家財政を支える基本となる制度であるとともに古くから存在するものであるにもかかわらず、正確な知識を有する人は存外少ないものです。</p> <p>企業活動における制度会計の中で、企業会計とならぶ重要性を有するのが税務会計です。その税務会計の中核をなす法制度が法人税法であり、税法分野では所得税法とともに最重要の法制度とされています。</p> <p>本講座では、このような法人税法の基礎事項を学びます。また、法人税法能力検定試験への対応も積極的に行います。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人税の仕組み、制度を理解し、他に説明できるようになること。 2. 法人税に関する種々の制度の基本を理解し、また企業決算の意味も分かるようになること。 3. 企業の仕組みが、税を通して理解でき、説明できるようになること。 4. 税制の変化につき主体的に考えることができるようになること。 				
授業計画	回	授業内容		授業外学習(内容と時間)	
	1	法人税の概要/法人制度(オリエンテーション)			
	2	法人の所得金額の計算/益金/損金			
	3	租税公課			
	4	減価償却			
	5	繰延資産			
	6	貸倒引当金			
	7	同族会社/役員給与等			
	8	税額の計算			
	9	寄附金			
	10	交際費等			
	11	資産の評価			
	12	受取配当等の益金不算入			
	13	申告手続			
	14	理論のまとめ			
15	演習				
教科書	<p>図解 法人税法超入門[令和5年度改正](宇田川隆編著 税務経理協会)</p> <p>但し、授業開始前または授業開始直後に令和6年度版が刊行された場合は最新版を使用します。</p>				
参考書					
成績評価	方法	割合	備考		
	定期試験等	50%	定期考査および授業内で実施する試験の結果		
	受講態度	50%	小課題等を含めた授業への取り組み、態度		
			レポート・期末試験の答案はともに返却しません。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・計算道具(電卓等)を持参すること ・所得税法能力検定試験は強制しませんが、全員受験することを推奨します。 ・上掲の教科書は必ず購入・記名してください。※購入していない学生は本講座の受講はできません。 				
オフィスアワー			メールアドレス	fujitasougoujimusy@ gmail.com 基本的には、Cラーニングで連絡します。	